

奈良市

多様な働き方を創り出すまちへ



BONCHI(奈良市橋本町) 2020年度グッドデザイン賞受賞

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 市内の人口増減数については、30歳代後半～40代の人口が増加しているが、22～27歳の人口は減少傾向が継続。
- ② 刺激を求め、県外へ流出している若者や就労を希望されている専業主婦に対し、魅力的な雇用の場の創出。
- ③ 本市に関心がある企業を積極的に呼び込み、新しいことに取り組む機運を高め、地域の企業や若者などによる新たなチャレンジや創業を支援。
- ④ コロナ禍によるこれまでの常識を覆すライフスタイルや新たなワークスタイルと連動した施策の推進。

2 取組の概要

- IT・クリエイティブ系企業の誘致に向け、サテライトオフィス設置補助金の創設。
- 創業支援施設を「BONCHI」としてリニューアルし、コワーキングスペースなどを充実させることで、「ひとりでに、持続可能な地域や社会が生まれる場所」をコンセプトに運営。
- NTT西日本、TOMOSU及び本市による共同実験の協定を締結し、社会課題の解決と新たな価値創出を実現する奈良リビングラボの構築に向けた取組を開始。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 企業誘致を推進するにあたり、大規模な産業用地の確保が難しい中、コロナ禍における働き方の大きな変化による職住近接志向の高まりを受けて、サテライトオフィスの誘致を方針決定。
- 東京・新宿に本社を置く、IT企業のサテライトオフィスが令和3年2月に開設（同社の社長が市内に移住）。
- 同オフィス開設に向けて、まず5人の雇用、今後5年では計20人の雇用を計画。
- 「大都市を離れて地方で暮らし、働くことに注目している世代」や「持続可能な経営のためのBCP対策の一環として、オフィスの地方分散を検討する企業」に対し、引き続きアプローチしていく。

詳しくは 奈良市ホームページ
<https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/109/>